

2007 JSDE /hk

発行 社団法人日本設計工学会北海道支部

監修 竹内 茂（支部長）、菅原幸夫（幹事・HP 委員）

平成 19 年度 秋季研究発表講演会

さる9月28日（金）と29日（土）の両日にわたり、北海道大学工学部を主会場に、（社）日本設計工学会平成19年度秋季研究発表講演会が開催され、活発な質疑応答が進められました。参加登録者は正会員他合計61名、講演件数は41件でした。また、会場受付の隣には機器展示スペースを設け、ローランド・ディー・ジーとソリッドワークスジャパンの2社が参加、製品説明とデモンストレーションを行い、数多くの方々が興味を示しておりました。



受付

ご多忙中にも拘らず本大会に参加されました皆様には紙面を借りてお礼申し上げます。



機器展示



講演会場—A



講演会場—B

第1日目の28日は、午前からの研究発表に続き17時過ぎから講演会場Aにて特別講演会が行われました。講師は本学会長年に亘る会員、国立大学法人北見工業大学学長 常本秀幸氏、演題は「技術者、研究者（教育者）、管理者を経験して」として、およそ1時間余にわたり貴重な企業経験を含め現在に至る大学運営の状況などを講演して頂きました（聴講者40名）。

特別講演会終了後、北海道大学構内にある「エンレイソウ」にて技術交流会が開催され、本学会会長勝田正文氏の挨拶の後、学会本部による優秀発表賞・学生優秀発表賞の表彰式が行われ、引続き懇親会に入りました（参加者34名）。



特別講演（上も）



技術交流会

2日目は、午前中の講演会終了後12時過ぎより見学会が開催され、貸切バスで小樽方面に移動、始めに小樽運河沿いにある「株式会社北一硝子深川工場」を訪問しました。同社では、



見学会（株式会社北一硝子深川工場）

（株）深川硝子工芸取締役社長出口新一郎氏の説明により熟練職人による硝子容器製造工程の説明とともに工場内を見学しました。



一同再びバスに乗り、小樽市郊外の朝里川温泉に位置する「北海道ワイン株式会社」へ移動、取締役製造部長古川準三氏による醸造工程の説明後、同社営業本部課長渡辺康夫氏のユーモア溢れるお話を聴きながらワインの試飲に臨み、参加者一同大いに楽しみました。

北海道ワイン株式会社見学後、再び小樽運河沿いにて暫時散策した後、JR 札幌駅にて解散、見学会を無事に終了しました（参加者17名）。



見学会（北海道ワイン株式会社）

・北海道支部からのお礼とお願い

本研究発表講演会は、毎年秋に各支部持ち回りで開催されますが、およそ8年ぶりで北海道支部が当番となりました。前回は室蘭工業大学でしたが、この間の工業技術の進歩は著しく、研究発表においても新しい分野の知見が数多く得られました。北海道は本州に比べ機械製造業等の産業が少なく、また広大な地域のため、会員数は各支部の中でもかなり少ない状況にありますが、今回の開催では支部商議員の方々を中心に実行委員会を結成し、皆様のご尽力により滞りなく進めることができました。これもひとえに会員皆様の本学会に対する暖かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

学会全体の活動を更に盛り上げるためにも、毎年の春季・秋季大会・支部行事等に是非ご参加頂きたく宜しくお願い申し上げます。また、当支部の会員拡充にもお近くの企業、教育機関の方々にもお声をかけられ、ご協力を賜りたいと存じます。

北海道支部長・大会実行委員長 竹内 茂